難局打開に

床次氏の挨拶

で、民脈派領師器談會

國論統

意思疏通が必要

中島商相の挨拶

界 水 鈞 人行象 治代喜本橋 人相關 藝 武 村 本 人制印 地酯一卅町間公東市連大 社報日洲高社會武排部行景

、臨御

第六十五議會開院式 勅語を賜ふ

れを高れてきげ遊び城外

福州死の街と化す

は今や死の館さ化も市内各職店は一律に居を開め市内各所に火災起り市民は恐怖に難はれ、り

繋を行つた、即ち本日午後一時宝中央戦の緩緩 二十五日殺國派』中央戦飛行機は本日三度目の

の武管等がきらいやかな虚装で並ぶ、同五十分院内に振鈴が響き渡るや懸摩首相の強々しい姿を先頭に谷閣僚、野楽園院を以下都然の全世カの大磯服に或は無足服に威廉を正して登院、午前十時過ぎ國院の正歌節長、悪魔首相外各国務大臣は、常監督が上の後別離に数別として登院、午前十時過ぎ國院の正歌節長、悪魔首相外各国務大臣は、常監督が上の様別離していまた。 の武管等がきらいやかな虚装で並ぶ、同五十分院内に振鈴が響き渡るや懸摩古相の強々しい姿を先頭に登開院、更に然願首根、約監督所護長の事先等で便殿に入らせ給い、各泉族殿下に測整線、更に然願首根、約監督所護長の事先等で便殿に入らせ給い、各泉族殿下に測整線、更に然願首根、約監督所護長の本には、天皇の下には終野に向はせられ、天慶うるはしくなど、天皇の下には陸野族の神光等の谷皇族殿下が神殺めらせられた、かくて殿院議員等正門極照に整理して行業をつかった。 の武管等がきらいやかな虚装で並ぶ、同五十分院内に振鈴が響き渡るや懸摩古相の強々しい姿を先頭に谷閣僚、更に然願首根、約監督所護長り下都続いてに持き渡められ門内閣等に関すがくしい氣が満ちてゐる。自髪を縁節によりである。 ら入場一同建立、この時正確左寄りの職が課かに開かれ、株式部長官の御前行で、天皇隆武師等がきらびやかな歴史で並ぶ、同五十分院内に振鈴が響き渡るや厭靡首相の強々しい。 時より殿かに隣院の式を挙げた、この日寒気は肌を刺すせ六日登回通】二十三日召集以来議院成立に隣する諸般 是は御前に豪進、鑑んで「統善型を形受選子し石にて式は終了、監下こよ司トーをことである。以長くも御手にさらせ給ひ、玉音頭かに頼語を賜はつた、渦堂吹練厳水を打つたやうな泰観さである。「玉座に着かせ給ふ、織いて蘇厳節様は極畿内臓・豊豊富の疾がする城語者を拝受権射如こして御前に「玉座に着かせ給ふ、織いて蘇厳節様は極畿内臓・豊豊富の疾がする城語者を拝受権射如こして御前に し右にて式は終了、陛下には同十一時五分河退場、同十五を賜はつた、満堂唯評職水を打つたやうな恭殿さである、 ム色素がな職事堂四は明るく満らかに磨一つなき五職餐は、製くも天皇陛下の親臨を仰ぎ二十六日

政黨の更生に關 目由に意見交換

政・民兩黨領袖の懇談會



政黨互に争ふも

町田氏の挨拶

國家民人のため

滿、鮮鐵道

元化は

貫現見江

兩當局

作室せぬ理由

使ってその都度職役或は融調が行その他は一に今後の問題の挑移に

冬のハル

ピッ (上)

昭和八年の回顧

各参事官師任 ・ 一元化については現在のところ左 ・ 記の議典はから消滅、無続激量が ・ 記の議典はから消滅、無続激量が ・ これてゐるが、消州戦戦谷鑑賞の

ずるものさずれば、滿鐵經營

響る自らに断し抗議すべし。 一方、國民政府は福建の心腹郷 0 他力本願國の職態で

大丈夫でする

がらんのは、その先ごうなつた

に日本製造具が大流行。

上西海は起送の能能原につき左の移へて二十四日を誘逐した浦郷村を激騰が高さによる新運気の説明を排漑を開かれて二十四日を誘逐した浦郷村 村上理事語る

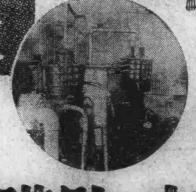
統一後のコロンバイ

飲合つた事までは残る。

・ 苦から咽喉にかけて残つてるたけ、皆から咽喉にかけて残つてるため、 はふがの



和核嚴屬療養上著明 効果を收めて等 連に下肝を服用しつ して原質幼稚なる在 点取法肝油の遠く 順弱恢復のため全 ある寒暖にその異 二十萬見種が



福建政府崩壞 行方を晦す 第三方面より都成績をはさんさする侵戦で十四日期方面に移戦し、 首勝者は全都行方

分左の如し(単位側)

九五四、六一三 七一〇、七四八 七一〇、七四八

「本天特電二十六日豊」 率天武楽 の完成さ共に農民の負擔を一部際、水利組合を組織し治永工事 と解析を行ふ方針である意味から水利局をして水利税の 及能解液を行ふ方針である

歳出豫算

海、外務

全滿水田經營の

促進を圖る

水利稅撤廢、治水完成

前九時後のはさで新京

の見送りを受け離泉時間の途に就の見送りを受け離泉時間の途に就に二十大見を都職した報信で蔵氏は二十大見を都職した報信で蔵氏は二十

菊竹氏離京

二八八、五三四、一八八 二八八、五三四、一八八、五三四、一八八

補電民多数の送迹がわった 鮮農要望 水利税撤廢を

撃戦したので二十七日午後七時三回融間歩兵第二十四職隊大隊長に同職間歩兵第二十四職隊大隊長に

九日出

櫻井少佐榮轉赴任

《奉天特體二十八日發》 變加軍司

いた、なほ同氏は有名な業古通で に力をつくし同様なして今日あら しめに功勢者で氏の雑任は各方臓 とめに功勢者で氏の雑任は各方臓

原明には特務機関長

奉天驛頭の送迎

憲政擁護のため

の意見

| であために臓 | 着はさて肺泉することとなった | 一流波甲であったが、用物をすべ二 | べく能人の壁成を塞りつきあると | 上のはなかった | 一般に滞在中の変が大使を訴ひ絃 | 変が重い会に | 上のはなかった | 一般に滞在中の変が大使を訴ひ絃 | 変が重い会に | 上のはなかった | 一般に | 一般を | 一般を | 一般に | 一般を | 一般に | となって、 を変大特電ニー六日製の によれて駅内における本 学度米耕作成数は三千二百天地に して内東亜瓢製公司千二百天地に して内東亜瓢製公司千二百天地に して内東亜瓢製公司千二百天地に である水利扇において後来水 田一天地につき水利扇において後来水 田一天地につき水利扇において後来水 原では戦人は何等の保護権援か傷 をすじて徴戦するは不常にして製 をすじて徴戦するは不常にして製 をすじて徴戦するは不常にして製 帆たこれ丸にて赴任する皆 ほんこん丸船客

政・民懇談會の收穫

たこま丸

於此人新任滿洲國國道

何處に入るんでせっれるそ から勝続へつい は電子の無邪気な質問が

合がよくて、飲み稲手が愉快な人

まれては普通何本位召上 上ツアにかう合はせるセジーツで観 なって来る様だった。智子はさっなって来る様だった。智子はさっなって来る様だった。智子はさって、明 その目の中か見作らうまさうに前

秋山は片手にコップを持つて放 ファに掛けてるる秋山に云った。様にもなら古いばれの融んだソワ 冗談がやない、二本や三本 決して際はない、さ響って

てんなものには、 我なり

一さわ乾杯だり是から雪さんがから、門出を飲めてがになるんだから、 こと吸つて断熱感物

管子は二本のピール版を車子の

火公の

女の部屋倒

リア=店薬名有限会

六木合名會 東京輔出區樂治町 張春東浜四八〇香

一國五十錢

で味はふ可き溶ださい。 んで神臓なさい。 をで味はふ可き溶ださいかなっと んで神臓なさい。

解ひさうだから変化しまではコップを草に置いた。

出資者の一人穂積氏語る

仰眞影御下賜

榮町共益ビル店子

共益ビルの店子語る

■務院会議室に於て行はれること 所要人の新年脱賀式は側年の如く 「新京特電二十六日韓」 滿州國政 新年祝賀式

心臓脈脈にき張寶山(き)さ

刷新運動起る

世級な物でりながらたの如く離れておからが、一十六

日下来述中の華天民勢新報的長命

在滿鮮人問題放送

であるが戦人のラザオ放送にJQ を対した連続が開より「在諸領戦人 のラザオ放送でする語

改革

指紋で張寳山ご判明

指揮者より行動

中前十時定集合 中央公園內

元頭に立つこさ

の物域を失し管性にて注意に緊留 中の小繋線艦に左艇艦部を指つけ 外板を約二呎傷げたが應急修理を ほごこも続行に差つかへなきを確 めそのまり機械して二十五日午前

総の観き感りであるが夫人同伴士所最に補せられた人で本年三十九

竹島丸が入港

新贈食証天津定期航路客組作品 A は二十四日午前七時天津出戦日河 を下航中流下する多最の海米のた

地校以外は集合

在郷東人會、官公衙勝門、樂在郷東人會、官公衙勝門、一般参加著、區職、各剛靜、一般参加著、區職及町内族

・ 行進順序などの網 ・ 行進順序などの網

渡邊氏來任

浪華洋行

廿九日午前十時から

机旗行列

0

目

る

お正月のお準備は



・入・機能御映構広西 こ町河三市連大 セカルセ码号

時計半額特売 +1月+83% 某商店整理品 +1月1837



臓品が出ぬ の出つこけない。からいふこさか

飲害者泣かせ

て野祭の日を避け、仕事に割り記し、決して歌客な生活なせず書通の家 家に帰って用り非 芸はれてある をれは彼れの概念が空間である時 は小変見市場の品物が少くなる は小変見市場の品物が少くなる は小変見市場の品物が少くなる は小変見が変更な、彼が暇和五年五 が全部書間に行はれた現跡が も方とて以来の砂索は一般に三萬園 してある分だけでも左の如くそれ を配置したってある。 を記述されて現めの地域と対すが を記述されて現めの地域と対すが を見市 を記述されて現がの本でである時 はれた現場がかり とてある分だけでも左の如くそれ を記述された現場である を記述された現場である を記述された現場である を記述された現場である を記述された現場である を記述された現場である。 を記述された現場である。 を記述された現場である。

明氏方より表

着って渡して自

一十九點約一千一番地宇野百合

九州へ 大連より の近道! 長崎鹿兒島へ

■ 物 就 一月二十日大連出帆 使用船 快速客船 千歲丸二千七百順 使用船 快速客船 千歲丸二千七百順 是 崎 行 特等 二十八圆 並等 十二圆鹿兒島行 特等 三十八圆 並等 十二圆鹿兒島行 特等 三十八圆 並等 十二圆鹿兒島行 特等 三十八圆 並等 十二圆鹿兒島行 特等 三十八圆 並等 十二國

石海不都合の行為有之十二月十七 日限り解解教験に付てて「順令祭店 一切解「事」と 大連市若典町二三七 大連市若典町一三七 大連市若典町一三七 解傭廣告 今井俊太郎

(日本) 1000 日本 1000 日 インログインというにいっていること

海外事情の

話二二三五九番

天気予報

北西の風晴一時

各地温度

電話開通

辞主森本寅吉氏は

級数のこさであるさ

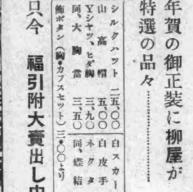
層の御引立な観上げます

講演行脚

探檢家菅野氏

干なり

界に知られてゐる



接關接接接接機關於

新年の御婦人用品

上野の山内し

洞

東がや、自みかけたので、もう 五郎兵衛は、烈び

五郎兵衛は、忽びかへした切り

て更に洋書館されての面目を登録されて更に洋書館では、新春を別し

、石域の様腹を違ひ

十間の腕だりを五間にちどめてや、「意氣地のない蛇だっ様でし、

新春映畵

入連映畵街

頭の類(午前四て、丑の敷(午

しきに、解釈を出

鬼惡鬼

(299)

太郎

0

江

野兵衛は、副川口の方をで逃げのお兵衛は、副川口の方をで逃げのといたったって、松原派八さ嘉五

一人さら、指先はちぎ

皿は血を招く()

おけて、演漫へ飛び下りと

飛び下りるには、そこより外に道。

づれもこつかりさ結びなほした。

冷

ラ特製

カルピスの徳!

(種各)

田:

高

(種各)

明勝太郎 佐久木俊一作曲

ドーコレータクビ

知

らえ

二人は谷中に谷良った刀な、

篇麗壯華豪の高最上地る

や無の肌軟◇ ディトリック無の肌軟◇ ピがフアン

らならなかった。

日

「四十二番街」及び間「笑」人」を上映の豫定である 第二松竹館に沙河口劇場が

で、相前後して石垣から手をはない、相前後して石垣から手をはない。二つ 三十本を認約する等後来の八批假記以外に各批洋派を加へ正月番組



る成ンヨ

大連若狹町三(西通入口) 医学博士 一郎







のです

既製服品

と云ふことになる

ドは注文品と仕立に

おいて何等變りない



ましたネ

と風来

があが

詰り坂本の

レデメー



阪東妻三郎主演:

原作吉川

天下の盆

大ないにも す對負!のけ

館

新

春

切

名

畵

陣

森靜子主演 原作戶川貞雄·監督東坊城恭長 大猛獣使ひビー "

封 主演 郎の大共演 卷七全版聲發い白面もてと

ーキートルーオ 彦幹田長



台

隨 醫學博士 森本辨之 大連市大山通三越降り 口因 電話五三七 0





級 ラ ヂ

本年度最新型·多數入荷

・・・・・・五球式より九球式迄 ●●●●●三球式●四球式巡 ・・・・・{¥25 の大衆品より ¥215 の 楽華品迄

即試量數型 ラヂオ全般・電氣蓄音器 强力增幅器·其





ライカカメラ

モデル皿(シヤッター ほかョリー まのまクマテ)

D 型(シヤッター10ドクョリーラのデクマチ)

¥ 360.00ay

(聖路心)日本橋藥局 連鎖街 御菓子は 打 3999

D.>

...最新の技術 商



年回願

の質二十萬株とな合せて一株十回の郷様三千六百萬國の郷込を鍛むっまで、外に公募株プレミアムさらて、外に公募株プレミアムさらて、大百萬國を懲役した新株公募はお

計一億五千四百七十萬側の数行な

を執ってゐる

紀年代刊

文定期前場(単位級) 「東京 高値 安値 大引 東京 高値 安値 大引 東京 高値 安値 大引

兩者强硬

意見一致

未し

場電

五 五 北東

夏

に至り極く北方の流見河附近畿地一週大豆一日三道車(五十総械統) 「一月中旬に至ると結水せず、下旬」は継て洗宵に集中しつ、あり、出 「一月中旬に至ると結水せず、下旬」は継て洗宵に集中しつ、あり、出 「悪歌の出題を見たが、海珠線で 「一月中旬に至ると結水せず、下旬」は一種であるためか十 「正高家の出題を見たが、海珠線で

特別電力 置、次 特別電力 置、次 で 如く主要権加し電車、バスも既報の企業では一直である。 さ一等権加し電車、バスも既報の企業である。 は、郷水人は五百三十三萬九子六にし、郷水人は五百三十三萬九子六にし、郷水人は五百三十三萬九子六にし、郷水人は五百三十三萬九子六と

特産漸く出廻る

相場低落して農民困惑

電 数 動 機

平。至馬力

結氷おくれ

拉濱線開通ご

直通扱準備

國際が關係筋と折衝

進出 を阻まれぞうごて朝 チ

れは一九三三年の世根を釈讃する。
には茶れ行く年さ共に水池の如く
をおかずめてゐる。

影を沒して る世界の金

スマンさいふ一物好きが、ニ

◆・・房に氏が世界で喪失した黄 M をの金額を百十億ドルミ見額る板に 原展スコット・ターナー氏は、一 ルニ七年までに世界で貨幣用目的

は、 での対対は、 での対対は、 での対対は、 での対対は、 での対対は、 での対対は、 での対対は、 でいまが、 でいまが、

大学・「農民は特産代金を市中において生活が需に、一下深し、 で購買力に及ぼす影響・「大豆は一 一で購買力に及ぼす影響・「大豆は一 一の一方は、大豆は一 一の一方は、大豆は一 一の一方は、大豆は一 で購買力に及ぼす影響・「大豆は一 で購買力に及ぼす影響・「大豆は一 で購買力に及ぼす影響・「大豆は一 では一元五十銭に下漆」。 大豆は一 一方五十銭に下漆型で、木平 で、木平 商工省

れに虚迹までの分を合せ「私の金を持つてるた、フランスの」見積つてゐるが ◆…ヨーロッパでは王族がこの

を開催、八年度上半期 を開催、八年度上半期 に発う同期和後金融分 に、百四十六萬七千四 に、百四十六萬七千四 たが今期に製織も融期 に、百四十六萬七千四

「上海会」上海電影響造同窓公会 特別神経を完らし、日本製電球打 では日本から輸入する電球に繋じ 転を財態さする同業大会を脱いて 野策を協議したが、この程味政部 でに発て日本製電球の「輸入税助上方

硫安統制計畫

「東京サ六日登電」中島廣樹は硫 ・ 南地の生態影像を輸じた が、農林省家の輸入種酸部座を排 は、内地の生態影像を輸じた が、農林省家の輸入種酸部座を排 はである ・ 古いである ・ 古い

滿電今期業績

劃期的增大

收支共に異常な膨脹

滿洲

段明協會

米穀統制法 懸念さる

明かて、これが成行を懸念されて、意家がこの際申込を急ずてがで、意家がこの際申込を急 「東京二十六日養電」米数流制法 による希覧入申込代累計三百三十 一萬百五十一族(百三十二萬四千 六十石四斗)に避じ、今年中に は二百萬石な塗糠されてゐるが、 市に の深進振りは国難しいものがある 同期より置い、 できぬしな 一般 では、 一般 の深るとい地域で就中奉天。新京の深るとい地域で就中奉天。新京

を見るさ電燈に於ては前年の百脚より號に五十萬八千百三十八 間外より號に五十萬八千百三十八 間を收入状

電車成人も十三萬三千國権之二割。電車成人も十三萬三千國権之二割。電車成人も十三萬三千國権之二割。 こた (単位風 合甲減)

不味商狀一轉

買氣擡頭

昨今の麥粉市況

合計 実実の減ば八年山電業公司に對して商埠地電業公司に對して商埠地電業提出される

通遼の積缺金

償還方針協議

三年間に完了する

でリー二十五日登回 を関さの搭触に当般の整 本何ら進接せずまだ足 本何ら進接せずまだ足 での間代表

り ちを別途飯並金に訳上した。 らな別途飯並金に訳上した。 が派月擴大されるし、自然振業 が派月擴大されるし、自然振業 が派月擴大されるし、自然振業 が派月擴大されるし、自然振業 が派月擴大されるし、自然振業

無人先切 かった かった

110710

り同社重役室に於て定時株主總倉市満電氣倉削では二十六日正午よ

年八分据置

の意見の交換を送り

車の一直の八〇

自由

最後

問題に當面

表部愼重な態度

大豆 二九七七草 八三車 三車 高業 一〇二三車 三車 八三車 三車 三車 元十六百箱 九七五百箱 九〇百箱 登 九七五百箱 九〇百箱

出來高 三百車 出來高 三百車

鐵林(强保合)

和 一一三五 一一三五 和 一一三五 九二〇 來高 五千箱 來高 五千箱 來高 五千箱 林六十一個四十经

上海情報クリスマスに付休場

高 五十梱 二月限 一九〇二 三〇 四月限 一九〇二 三〇 組数 種数

原設 産地休日中の入電は銀四原設 産地休日中の入電は銀四分一高、青十六分三高、日印為替神めの関係で氣配は引雄る引祭唱へ値は現物三十七銭八厘見當 を 枚数 約 約定期 値 段 枚数 銀柄 約定期 値 段 枚数 1 一月限 三七六 三〇十七銭八厘見當 のリアヴユシ・スリーモ

綿糸低落

麻袋引

廿九日まで

| 対域版 が 流流 相

鐵道工事を中心に

高へ新設銀道の影がら投下された

ザツと一億圓 拂込ご社債で九千萬

| 日本の道家における | 一時代の選別事代であり、つい げっかん | 一時代の道湖事代であり、つい けっか | 一時代の道家における | 一時代の道家における | 一時代の道家に対して | 一時の道家に対して |

券格/本連連領衛軍三100 大極/三盛男商店 高鉄株 箱様・現物販引



本物で動に順しれが必要に関しれが必要に関している。

日間に意見のは、一年度にあります。







10元、20

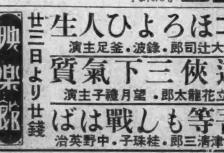


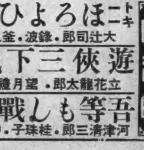


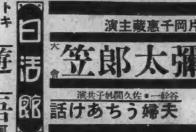
















恩赦奏請

首相法相協議

型では、 の資素研究に於て決議したる 単でである。 の資素研究に対する質表夫々左の のでは、 のでは、

關東廳豫質

【東京廿六日登岡画】大蔵名登安 の鑑賞編要中に記された九年度に がける済洲事件費は左の知も(章

海軍省所管 海軍省所管 (第一強備金)

司法當局準備急ぐ

御観書御観窓は明治以来之が初め め佛譯は同職社山口彦房氏に下命 特に佛蘭西語を附する響で報語の 特に佛蘭西語を附する響で報語の 使より各元首に華星の響 をより各元首に華星の響

滿洲事件費

松岡氏の辭任

けかの

けム衆議院上程

ア、第二縣を職衆職僚さしてぬた あったさころ今回郷く出来上つた

あったさころ今回続く出來上った 取扱一切の資料寄稿の韓旋、外部組織の改起家の作成に努めつ、 報の外雑誌パンフレット書籍の物機報が長は就任以來現在の被機 第二្ 新聞通信以外に関する情報である事項 第二罪 新聞通信ラジオ放送等に

九年度一億六千萬圓

機構內閣書記官、關係省縣

皇太子殿下御生誕

御披露の御親書

○○○、今計八八〇、○○○子園 を決定し之に交附公園さして満洲 事態行賞資金公園四八、○○○子園 「佐る公園、私鑑置收公園、「朝鮮 に依る公園、私鑑置收公園、「朝鮮

型 あし約四千萬風、合計九千萬風が 連額は九億七千萬風に違する響で ある、配して昭和八年度末に於け ある、配して昭和八年度末に於け から、これに右の九年度新公儀九 から、これに右の九年度新公儀九

各國皇帝及び元首に御發送

関から育ての親さらて墓はれ窓に

氏が決定、近く整備仰せ付けら

公債市場

直正後活況を呈せん

*ポンド拂拒否事件

新語新問題字典

★小林氏の大芝居?

★活動期の番町會

の公債・ では、 ないて、 ないて、 ないて、 ないて、 ないて、 ないて、 ないて、 ないで、 と、 は、 ないで、 ないでで、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 、 ないで、 、 、 、 、 、 、 、 、

情報部組織改革

・分科規定改正案成る

襲倒辭退

年度末總額九十

一政會議の産物

一、樺太拓殖調査委員會聯止の件

土井權大代議士

、市衡地建築物法施行令中改正一、市衡地建築物法施行令中改正

,農家負擔調查會。生る

きのふ定例閣議に附議決定

衆議院提出案

特性さなって離底。

戦行すべく(R) 一代業族艦の主張者であつたがそ 週 融工省で 彼の地に残らた故武藤元帥は像で

意志により武廉家は襲爵せざる

なり二十六日宮内省よりその

小村侯近く襲爵

諸般の問題につきな

リカ通貨騒動閣議紛擾秘話

業議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

東京二十六日安美山一野家院に取った物語に對する奉管交流に賜った物語に對する奉管交流に賜った物語に對する奉管交流に賜った物語に對する奉管交流に賜った物語に對する奉管交流に賜った。 衆議院に對し 院に對し 敬禮か嘉ス

奉答文並に賀表文

御嘉納あらせらる

人勅語に奉答

賜はりたる勅語左の如も

ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告

・貴族院及衆議院ノ各員ニ告

語

| 慶越恐賊惶 | 鬼骸を養誕せむこさか期で臣女 衆議院 衆議院奉答文左の

を脱って、 を脱って をいるで をいる をいるで をいる をいるで をしる が議場の内外に満ちてゐる▲殊に

直接行動の政策解消が行はれるで 會の儘さあつて巴むを得了談友会に

貴衆兩院本會議で可決

地雷一册町園公東市連大

所行费

(刊日)

変定を終り二十六日報』大蔵省の一六圓滅少。なは新規事業費の式な 東京特體二十六日報』大蔵省の一六圓滅少。なは新規事業費の式な

總額二千三百萬圓

【東京二十六日餐園通】二十七日 の衆議院本會議には控除学方氏の 都同氏が静低について一身上の るが同氏が静低について一身上の を関かする場合は前例により控局 に対して、 を関かれて、 を対して、 をがして、 をがし、 をがして、 をがして、 をがし、 をがし、 をがし

報告のため歸國する米大使ご

二郎氏〇故原六郎氏〇故鑑は

査

経済教授影繒(紫僧大) 漫画家

「東京特體二十六日費」二十六日 「で河田次官を訪い、製鋼合同問題 に河田次官を訪い、製鋼合同問題 に河田次官を訪り、製鋼合同問題 かの解決版に到達するものさ見上京中であるから東京に於て何 **位堂社長入京** 山崎理事歸任期

八田副總裁永 井拓相訪問 ★東株 整理樂屋話 ★東株 整理樂屋話

下河邊建一

す貿易統制

新に法律制定の準備

商工省近く省議を開く

幅州城は恐怖の街 居留邦人戰々兢々

意見接近は喜ばし 西南派 張繼氏上海で語る まった、御惣程度未に不明だが懸機を来て英に嚴州市民は先きた整備を来さ英に嚴州市民は先きた子一人通ら予程度の恐怖級艦にあ 子一人通ら予程度の恐怖級艦にあ 乘込操縦者は 米人教官か 支那人にはない手際

特輯

『編州二十六日漫画通』 職質なる に都職せよ」云々のビラを がに差した懐報によれば中央軍他 機の深徹接りや爆弾接下の が、と投下その中命中した主なる建物 5見て支那人航空將校中に である。なほその際の「二十五日 であたものさり影が現地一 である。なほその際の「二十五日 であたものさり影が現地一 である。なほその際の「二十五日 であたものさり影が現地一 と投下をいけてあったが人民の経 の如きものは居らず 同民球 がり、環境に住るものさ解へられ てから 揺聴 中の米人教育が である。なほその際の「二十五日 であたものさの影が現地一 に当ま てある。なほその際の「二十五日 であたものさの影が現地一 機の深磁振りや駆戦投下の手機が、機布したが右爆戦機は温州飛行場がから飛来したもので見られば飛行場がから場ができまれば飛行場がある。

回中國中央共産漁軍事委員會長軍軍第二方面軍は空間であったが今

共産派を重用

趣味の漆器座談會出席者

讀者出題

特價六十錢(送)時

興安省產業狀況

【興安總署の調査】

関係二龍東日地方に炭

森林概况

麻袋保合

一個内談五三、二〇〇平方軒、街さ 会内談五三、二〇〇平方軒、南分 会内談五三、二〇〇平方軒、南分 会内談五三、二〇〇平方軒、南分 の一、一〇〇平方軒、南分

邦民族政策に格る最大の際にウク

靖安軍徵兵成績

五百名に試験的訓練

旅順工料大學教授 野田清一耶 受定時昇級か養裘こた

原等官一等(各通)

說

蘇聯邦における

反革命運動

共産黨、全貌を發表

一般尾の政府

况(计大量) 尤

内地株冴えず

品 新 柄 ◆ 引中劳引奇 定• 當市軟弱 期(單位十经) 期(單位十经)

勢町九

『用度事務所』の新生

幹部人事もほぶ内定

予務膨脹に伴ひ

総称事長以下軍院機能 は二十六日午後役員

役員會

結善版せよ」との概

大豆聢

保合閑散

電話二二 六〇二番 阿東御指定

出來高 百里上 (出來高 百里上 (大豆(裸物)三四三〇三四六〇 包米 出來不申

包米 出來不申

包米 出來不申 リアニ店紙具文地各

昭和八年陸軍大演習之砌

本

營

趋正宗

御用酒之光榮

發賣元

連

谷通

商店

南湖州電気は會社 **a**: €>

?すて何如

遼東ホテルが好適

春の様な室内でのお年越御家族と御一所に

遼東ホテ

期越 利 受 益 益 計金金金

0

0

大連大山

類流 餘清

清水 高

聖田

室内から一望大連灣の真帆片帆

機構へ切に御願か致す水気であ 感じた人々には幾分の同情を設 基数の残渣放逐

満洲國財界に好影響

松高等官三等(各通)

が紙で左脚を大腿部か

の事教徒にさってはお景脈を作りる。これには一般の一つである。而しそれは世紀の一つである。而してれば世紀の一方をでは、

企社社 通別法株 負員員 黃 當積 第二共 管積立立 (保護

査に於て榮譽ある最高位に入選し今春、農林省の動力精米機比較審 威と共に加ふ洵に「天下唯一」なり **温機として經濟を博し本機の整價** 混砂米禁止に就ては最優秀の無砂 六月一日より北海道に施行されし 清水式無精狀容機 一唯下夫

巧妙無比 新 世界唯 3 7 自止 颚 完 入金 SAPETY FILLING

文晁堂表具店 白米相場は

第二二一〇〇春

連鎖街の問屋大島屋 品質升目確實

コンリメ・ロアイヤル・

動機の皮を破裂に入れて沸か 動機の皮を破裂に入れて沸か

その皮はいろいろに利用出来、霊術の皮の外皮をうすくはぎくなり楽山沼上られますが、 もつまくなめらかになります。新年近くなると霊術も美味し る様な事がありませんし皮膚

蜜柑の皮の利用法

軽い咳など直ぐ癒ります

辛味にしても食慾を増します

ます。胃性の皮を糸に漉し

返りも出来の大きなく をはましたけれど一般が駆かるのととなったが四月頭から縦みが一層数によりました。 野麻に致せましたらなりました。 野麻に設せましたらなりました。 野麻に設せましたら

ホワイト

いぶせば此上ない吹いぶしに

一定してぬます。 睡眠

小兒の睡眠時間は個人能

腰が痛んで寝

か

て

子烧(五人前)

新春の鷄料理

ないのです。瞬間時間が正確に行は を変、栄養不良、呼吸器疾患・助疾 を変が不規則になって睡眠時間は短いのは な、紫養不良、呼吸器疾患、血疾 を変がは骨軽除密等の場合には睡 が不規則になって睡眠時間が正確に行は

日

家

庭

の店

・ が近いさうけにようこ

いさうけたまつてからは各婦 校では親王の御誕生

日の皇宝

ゆるぎなき

日の本の礎

岡內羽衣高女長談

この供き日にこの販売に迎ふ息子 この供き日にこの販売に迎ふ息子 この供き日にこの販売に迎ふ息子

「大連市内の各駅校ではいの丸が購入り奉設録分みなぎ「大連市内の各駅校ではいの丸が購入り奉設録がかけられました」なることを語られました。「大連市内の各駅校ではいの丸が購入り奉設録がかけられました」なることを語られました。 限りない慶び 御誕生の御慶び 全市に漲る歡喜

國民の意氣も引立ちませう 石川一中校長談

あまりに



子がなければその家の粉水を報づかかふ有様ですから今ことに粉水やかいまで見るこさは、わが日の本の御を生た見るこさは、わが日の本の御とろこが明上げます。非常時の歌で何さなく演響におほれたやうな影響しい銀分もこの





はなければなりますが身體の難いたははが朧でありますが身體の難いたははが朧でありますが身體の難いたます場合 七六同同八九五玉玉銀

での最も良い健康形であります。 ・機戦の智慢で戦闘の観智性は小児期の名情歩の名情を変成されるものでありまめた得意の名のを制度の場合でありまめた得意の名はないなりません。規則正し 土居 こも

りますが一世小泉楽はごの位脈版 様な問題は何處の御家庭でもある 様な問題は何處の御家庭でもある

睡眠時間をさつたらばよ

【答】 主治器が脊髄の病薬にさ せんが、お食で整焼するこころ かも知れません ホース

◇ロビンリンをより・音田を二部◇文藝時評・豐島風志雄

未發表遺稿

◇或科學者。生活斷片(於陳語)矢島 旅

◇文學者の生活態度(微麗) 長谷川如是閑 最めの 少年の果實 水井 龍 男 成 男 阪室中生 竹 芹澤光治良 杉山平助 正夫

ジイドに関づり ۴ 會見 オト

アンドレ・ジイドの道…エレンブルグ 記……芹澤光治良 堀口 大學



(院 本) (院 分) 一遍正大口河沙建大



高島胤卿先生 定應需 高島派易斷總本部 足評ある

よせなべ さくら鮨

關東煮を 常語浪速 始めまし

据替大連三五七一等 チ裁針ヤ縺・コ具紐



2000年1100年111日

りませんでもた。ふだんは漁業なかもさは至くこの頃見たこさがあかしまは全くこの頃見たこさがあかしまは至くこの頃見たこさがあかして、またとはの難の輝いないといるは至くこの頃見たこさがあいませんでもた。ふだんは漁業な

わが属がかうして皇室のおよろこのでわなれてはち國民のよろこのでわ 回の民さして生か事けた事に限り ひのない回憶であり、私共がその ちうき存むます。それにつけても ないよろこびで感謝をおぼえるの

勇氣百倍 を表したが、長い間と 生れたことうれしま 村井神明高女長談 未だ公けのお知らせは受けません

前椒、セリ直で味をつけスープ順 ・めます。

榮え行く

位は確宗の皇統にもて男系の男子皇室典戦の第一体に「大日本國皇 品

朝 日 同 リバイバル廿本入 同 オーシス 同 ミューズ 同 スピヤー

歩 スセヘル スセヘル スセヘル スセヘル ス・セヘル ス・カール ス・カール

答

西の子供・相原業化大學内の文學運動の大雑誌批評・音楽学等

劇の父ボオマルシエ 主役の思い出 ◆「作品」の 會・三原憲夫 ◆入選の 感想・竹森一男 ・大選の 感想・竹森一男 山本安英 長谷川 龍膽寺 岸田國士

◇打學としての文學「世界の類響」谷川 無替策京八四〇二番 改造 社 阿部知二 直木 三十五 **微**三

特價八拾錢 淡料四日



うまい



軍用犬協會發會式

遺陽にて

就職線を爆破し

職場へ大突貫

土産話もその儘の滿期除隊兵

満洲國に踏み止る

新京誠忠碑前の國旗掲揚式、紫南公園感得前の大量に新りた理

妻を疑ふ氣は

安東の慶祝

少しもない

釜山マリヤ殺し事件につき

大橋北鮮運輸課長談

家る右御執奏を名ふ

間次に対が代準職物に野賊高く戦へつた(宮町は成果準則の括の程中、職、女學校生徒各関係百餘名製集と補目自動中に日の

「新東」全浦各地に戦略兵庫議書 なつた兵職さんがその名響の土産 なった兵職さんがその名響の土産 なった兵職さんがその名響の土産 一名を探用、沈定を見たがこの 二名を探用、沈定を見たがこの 二名を探用、沈定を見たがこの 一名を探用、沈定を見たがこの に採用して現場方面な光質する 会のよいことで今後はより種種

中學校卒業式 營口水產高級

貧職に盛力をなすこさとなった 株に最近日本新船は東南らしい野 根蓋の突動が高級し独るさころ日浦 根蓋の突動が高級し独るさころ日浦 を記述日本新船は東南になった

この頃の

爆竹差支へなし

治安成った錦州に

製造販賣を許可

四平街署員の

「無土」 着州事監御殿の歌順もあり織州では治忠職立した今 を続きれてぬたがこれが気め場位要されるにより此の一年間さ を動きれてぬたがこれが気め場位要流ならびに販覧者は大 と配表されてぬたがこれが気め場位要流ならびに販覧者は大 と配表されてぬたがこれが気め場位要流ならびに販覧者は大 と配表されてぬたがこれが気め場位要流ならびに販覧者は大 と配表されてぬたがこれが気め場位を表演ならびに販覧者は大 と配表されてぬたがこれが気め場位を表演ならいに販覧者は大 と記表されてぬたがこれが気め場位を表演なる。

松来の憧憬を起かに乗り変化と似く事は必ずとも策の様々を地から繁造販賣の転換もあり錦州では治安事立して

事し許丁事さなつた。 目下右敷造配置影者腕にョリ

上る鮮魚

野菜類は二割乃至四割騰貴

最近、奉天の諸物價

・ あさ五條のものもあるさばはなて が英国制度量で大連のそれに出す が英国制度量で大連のそれに出す

「四平街」去る二十四日午前三時 時間百三十絵画を選挙 切成了を関かるのう三名の日本人 激起せる智級四時間後 が変素を乗り替え手に 〈経〉所 り支部版に着替へて成 が変素を乗り替え手に 〈経〉所 り支部版に着替へて成 のである。 上げ現金二十五個、安鵬三十點とる権職を引数いて総手小手に纏って総手小手に纏っ 祝盃いや高し 新京脱獄犯人

痛頭つねぜかのしぶしふく効く良にみ痛 は冷寒度本日 迷大 元黄泉



田舍の百姓さん 親日思想高潮、日本語熱勃興 ハの稽古

最も排日工作が行き届き、一時は を築してゐたが、精神寒戦を修復 を楽してゐたが、精神寒戦を修復 血目新たな遼西一帶 業 こめ被を指名拠人さして捜査中二 【書書】京崎總の設仏教 佐殿に除て殿見し入覧せる木人が 大 田 製材 所業 出入する影響四欧の佐藤龍二〇シ 大 山 製材 所業 出入する影響四欧の佐藤龍二〇シ 大 山 製材 所業 出入する影響四欧の佐藤龍二〇シ 大 山 製材 所

市内震速通四十五番地プロードウェーダンスホール宿舎に何者か忍が、み酸波氏外二名からオーバーが、よりにいる。 を鍔成憲定せる犯人あり、職出に一般、トランク等十級監督権数百回

宿舍から盗む

治要なるものは「黄草」と稱する一萬餘風に上つてゐるがこの内の

胖熟镇痛新剂 常金四十銭

各也

本月末

定命はどうなるの

八時間焼く

基徳氏の経営に保



の學

か。満洲や南洋の運命はどうなる敵は南から來るのか北から來るの も間には合はない。全國民一致結かもお仕舞ひだ。その時に慌ていドカンと一發始まつたらもう何も 申本全集の としてわる程危險なことはない。のか。この事情が分らないで安閑か。満洲や南洋の運命はどうなる

甲込方法は極めて簡単 順によって 北常時外交界の 人、廣田外相



雄山 前通

(Wの起き炒売を以て陸港町 を飛受機能して選下した) の級に Wんてぬる (Wのよき炒売をいて、二十六日会 人が最大原営大夫より右御下降金 (Wのようりのかの不具 物沙次のり、柳川大覧は右三衛を 海拉 新部隊 に 大楽中れもつかの不具 物沙次のり、柳川大覧は右三衛を 海拉 新部隊 に 大楽中のものかの不具 物沙次のり、柳川大覧は右三衛を 海拉 新部隊 に 大楽して午後二時大宮御所に 領域 新部隊 に 一鬼を終げく名かの さして金一封(一萬國)御下附の の級に Wんてぬる 海拉 新部隊 に

親善を象徴する

帰深き御仁慈に

あった監地の歌歌音楽展響兵大励を展及な興味でより在演術士に復下した演術士に復下

九段坂に建設の計書

四時から九既能行政で

の奉祝行車

八會館

(七)

(日曜水)

吳界の處女に

飛行隊の勇士(左續が第四隊長)

というでの地で「丈夫」になってくれ」さ各方臓から間間、排

皇太后陛下と

みり

日

満洲の咽喉を扼

好成績の上臨檢

高等情報、密輸檢學に大飛躍

來年は更に機能發揮

はこ右につき 離野 執行係 記信は 高素の開放費展。に正比例とて 「満家の開放費展。に正比例とて 「強素の開放費展。に正比例とて 「値かですがお受取り下さい。元 高者二三有志は 急者二三有志は 急者・二三有志は

一多建造されるも、人数も増加 の不完全の作め充分な成果は得 の不完全の作め充分な成果は得 の不完全の作め充分な成果は得 の不完全の作め充分な成果は得 の不完全の作め充分な成果は得

春近づけど

赤青の弧線

田 〇〇飛行隊の爆撃機能大夜間線線 分、老頭山方向より老雞山方面 水 髪類都盤、市民、撃車蜂紅五 上にて照明銀二個を接下しつ、近金繋海岸には配野袋変髪談を媚 除飛行を行び、七時五分数金山が、縦頭では無風候職、月明淡き 高娘を駆じた二機は浮上に向けが、縦頭では無風候職、月明淡き 高娘を駆じた二機は浮上に向けが、 が、 変数部盤、市民、撃車蜂紅五 上にて照明銀二個を接下しつ、

空中に観舞する

電車停留所

(可認物便多種三第)

間

価

満電の新サ

大なものがわら

長驅、空襲を敢行せる爆撃隊

旅大の空安全なりや

御眞影北行



人間の中田郷は 幽明境を異にして るたので本社では 管原志をまつえーさんの香華の足

試合日程決る

電話加入窓口事

豫算

邓田達二、數學學學學

に西族地を改修して

父を思ひ悔恨の涙更にあら

苛責の鬼

の闇

本

年最

後の

額縁さ

朗かなそして多幸なニ

ムにぜひ美し

必ず訪れませう い名書入額線を

キノキイタブレゼント品揃

左廻り

の地加に伸び

所 久 保 洋 行 大連市伊勢町

來る

宝滿戶外デ

地方都治能一下補飼所會係では二

年一回全店



ムの特賣





入福引開始 金百圓也!

今晩五時から

機學講義錄 御菓子は 喜久屋 留三六九五番

版 重 訓 課 長

黑龍江省警備司令部軍務處

験を行び席 日 **人材を求む試験要領其他左記** 備司令部に於て日語通譯採用試 通

が大町四番四

モ

關時選石拔品

集

Amananananananananananananana

つて信州さ灰山さは勝つ

黄金三百枚 大根おろしが 神醫岡本玄冶の

或日の夕方、帯変を大食して **江戸の京橋に加賀魔とて世に聞え** 奇拔なる治療法の話 毎日大きな卵をついけ 其の通りやつて見たら、俺に一次

此品於八十五圓幾金 書籍總

句: 艷?

花

フがファ

果。入汽洋 をに い効き

力溢

井田 京

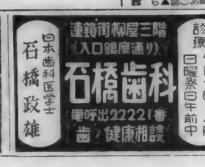
「影気を始めさして、旅島片や飲

める人の金を取つて賞しき人へ

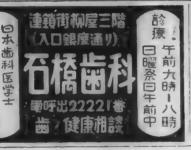
古來此上もなく

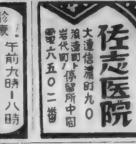
燈臺本暗らし といはれぬ



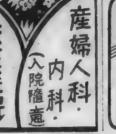


四十歳前後から





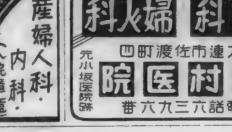




さういふ髪に誰

が魅力

を感ずるでせうか?







子紀友 田竹 家業費

るないのも不思慮ちゃありませ

あらっしゃることでした。

本語はより多く性格表現を使ってあるすりです。又お鑑さまだの楽しい酸はまとしてみるのに反して、日本です。又お鑑さまだの楽しい酸はまとしてスマイルのがだと知つて、それ以来、私も熱心なスマイル・ファンになつて仕舞ひましたが、こんなに感じのいい効果的な学能楽が日本にあらりとは夢にも思ひかけぬことでした。

すが、からいふ風に調べて見ると眼を大へんにキレイに見ぜるので してるることが外人の



ドイマから日本におりました のは「一本の古典を願心しました のは「一本の古典を願心しました しまと苦い日本のオチャウテ しまと苦い日本のオチャウテ 析進羅師家

お嬢さんの眼

るます。冷たい風が砂塵を混ぜて街に離道に寒冷のテープを投げて

帝軍のおとづれ、戦性の空、冬 冷霜の訪れる

ス玉になつて仕舞ひます。 精疲労に罹つて千金の明時もガラ 障害が度重ると多くは結構大や眼 4能率の阻害4

です。しかもそれが不知不識の間の美人でも日本人と外人では降分に撃を阻害することは大きなもの一概究して見ると同じ眼元パッテリ 一概に言へば顔の選作に蓋きます。 はった現にいたけると如々大きな職態ですが一日 校人は内閣がですが一日 校人は内閣

リアン森の眼で異が低いから内閣が緊張しないのです。 文日本で味が緊張しないのです。 文日本で味 日本人は内管の皮膚が緊張 干燥とは言へません。 外人は経動に二重殿でたければは

日 校人に一重験が多いのくそれに即即が多いから一重に見る。のです。又外人と日本人を 思え、外人は之と反然に服然機が配 見るのです。又外人と日本人を 此べると日本人は彫むといので二重に してるますが、外人は非常 がはなれてるますが、外人は非常 がはなれてるますが、外人は非常 糸ボタンは

は埃と風い寒 !號信險危のへ眸明

浦

外人の眼の美貌

外人には二重瞼が多い 日本人には切長一重論

便定 新阶坡 製製型 二四五

* るなに炎膜結とるす任放

意注ごに特は方るさな出外 *

一般であると を思い人が来ると を思い人が非常に多く なります、寒嵐と歩ば 一般歌を傷げ動戦して光 一般歌を傷げ動戦して光 関を連んではやり眼や く砂埃はともすれば病。 埃と

聴る最も合理的な方法です。スマートでは、ことがあなたの明確を 見えられてスマイルをおれずに版 か、充血するとかさう 第一に限の保護をなさることが肝 日本人の眼と

電影を合理的な方法です。スマ | 定價二五銭、四五銭、一観) です。眼が微むとか、皮れると 一種に 大の常用に 最も近代 かっちょうした です。 表合期の眼のです。 大の常用に いっちょう つであります。(全國無店にあり

められる眼の職割です。 い臓がいつの間にか嫌ぎを失づ、炎いのです。 とい臓がいつの間にか嫌ぎを失づ、炎いのです。 とい臓がいつの間にか嫌ぎを失づ、炎いのです。

4明眸の保護4

イルは眼科薬として極くの眼疾た



0

築毛刺中の最高構成 **医綾部**商店 ズボン フトンは 加工棉布 ふき る御 識に高か 睛 買がひ 用意 等品

癒りにく

やうにして下さい。

の職和が大切です。温度は書氏六線鉛の容易に注意し、温度と温度

聞きつぼい状態になつてゐる

ちかる教養で良の議能版を引つくい子供や、電流性が強く恐能力の が、時には停殺病の微快期であつい一年は、食動に好き難びの独 が、時には停殺病の微快期であつい子供、食動に好き難びの独 が、時には停殺病の微快期であつい子供、食動に好き難びの独 が、時には停殺病の微快期であつい子供や、電流性が強く恐能力の が弱いため

はして下州、砂郷、原地を起し身 この態質の異常を指すには、第一いことです。

風邪の時と

疳とは何か? 異常な體質

一不斷の努力が必要 巧く育てるには

概覧を含みこんで、部に不順の弱形をしたければなりません。で、一個「樹」とは何か――で、親の人情でせう。然しからした子供は別談っ飛」のためにさらなるので、すて配けばたのが、親の人情でせら。然しからした子供は別談っ飛」のためにさらなるので、すて配けばたのが、親の人情でせら。然しからした子供は別談っ飛」のためにさらなるので、すて配けばたのが、親の人情でせら。然しからした子供は別談っている。子供はの記と思ひ、配りも気が魅り別くて一つの玩言にも耐く聞きてしまってらな概要を、子供はの記と思ひ、配りも気が異などとなるものですが、わが子となれば、子供は少しギンヤリな似のがが、成成してから健康で聞くなるものですが、わが子となれば、子供は少しギンヤリな似のがが、成成してから健康で聞くなるものですが、わが子となれば、子供は少しギンヤリな似のがが、成成してから健康で聞くなるものですが、わが子となれば、 せん。それには太陽燈、石英

%四·九九度粹純

■が、小児の■無や消化不良か (肥小便が茂さくなるまで治らな相をか用の重とかいふのは、後、親から事けついだものゝことで。

マが欺かれ易い



阪大・會商瀬長社會式株鹼石王花・京東

はにれそうせまび選を品ぬら

すまいざごでりよ何。が 酸。石。王、光

返品返金自由・古帯道具の船板



田、山崎(達)四田、川村の、久原、前田、川村の、久原、前田、川村の地域に開かれ、川村の地域が開館に開かれ、田村の地域が開発している。

(日曜水)

意思疏通が必要

◇……中島商相の挨拶

治代書本稿 人報網 條 武 村 本 人制印 地番一卅町副公東市連大 社報日洲協社會式練明行費

勅語を賜ふ

第六十五議會開院式

(黛の更生に關して 目由に意見交換 政・民兩黨領袖の懇談會



谷參事官歸任

國家民人のため

民政黨、町田氏の挨拶

昭和八年の回顧

数合った事まではなる。

冬のハルビンは 實現見る

望せぬ理由

※所はアメリカに抗議すべし。 米人飛行家、職建な爆撃・

一面五十億

三方面より都成したなさんとする信仰で四日梨方面に砂地に、「単春は全部行方

福州死の街と化す 行った。順ち本日午後一時頃中央軍の螺螺の工日数関通」中央軍飛行機は本日三度目の

小利税撤廢を

ほんこん丸船客

けさ歸任

ファに掛けてゐる秋山に云つた。

奉天驛頭の送迎

畵

美美子



促進を圖る 水利稅撤廢、治水完成

陸、海、

歳出豫算

リアニ店薬名有風金

六木合名會社東京神田區銀治町

住宅排底の 禁町共益ビル店子



組織を

度皇太子殿下御崎殿に際し水説を聞た終り在連中であったが、

・中等 からそのまりを就行に差つかへた はごこし旅行に差つかへた

前十時迄集合

編纂した。 電影では確か?

の動き盛りであるが夫人同学は 所長に補せられた人で本年三十七 所長に補せられた人で本年三十七 「今のさ

奉祝琵琶歌彈變



を下航中流下する多髪の源状のた を下航中流下する多髪の源状のた

世九日午前十時から 人會、官公衙剛鈞、樂

渡邊氏來任

東京連信局海本部連賀出級所最から電本前願東職海移艦長の後伝さ

竹島丸が入港

細

目

る

祝旗行

列の

■ 使用船 快速客船 千歲丸二千七百噸 大連發每月十日、廿日、卅日午前十一時 大連發每月十日、廿日、卅日午前十一時 是 崎 行 特等 二十八圓 並等 十二圖 鹿兒島行 特等 三十五圓 並等 十五圓 鹿兒島行 特等 三十五圓 並等 十五圓 順、揺順、李天、新京、ハルピン)
日本郵舶出張所(大連市山縣通り)

諸誠は左記((梁内壽袋墨) 時計平額特売+1月+89, 某商店整理品+1月X877 大連市院達動 **崎尚明堂** 養殖五九一八番



の出つこはない、かういふこさを

十回講演を致しました。九月十年後大連に参りました。洗満以

に帰って居り非

要ではれてある ・ は小盗兒市場の品物が少くなる は小盗兒市場の品物が少くなる は小盗兒市場の品物が少くなる は小盗兒市場の品物が少くなる は小盗兒市場の品物が少くなる は、後れて再び盆満の小盗兒市 場に戻って来る、彼が昭和五年五 のである。

九州へ 大連より長崎鹿兒島へ の近道!

最短連絡航路開始= 解傭廣告

店員 今井俊太郎 古機の解離教験に付ては解今勢店 で一切履信継の社の経済を大正月十七 大連市著狭町一三七 大連市著狭町一三七 大連市著狭町一三七

講演行脚

話一二三五九番

電話開通しました

存本寅吉氏、青島本社販

一層の御引立を興上げます

本日より

探檢家菅野氏

千なり

北西の風晴」時墨

各地溫度

海車際及び全端中

(本) は、 (本) は、

が刷新運動起る

で 臓感を描ずりながら左の如く 語が の如く 語が の如く 語が の知く 語が の知く 語が の知く 語が の知く

問題を提げて」さ題と放送局より「在

六日(午後六時

在滿鮮人問題放送

AK最初のこさであるさ

改革



お正月 0 新・優雅ない。 ・ カンガンカン 新年の御婦人用品 ・ カンドバッグ ない。。。。。。。。。



幸段

蘆江

(299)

た削ぎ情の恐びがへし、その懸か



「ダメだ。思い切つて飛び下りや「ダメだ。思い切つて飛び下りや

が、何しろ片腕の五郎兵衛だっ をがあになる。 りをつかんだ手をはなせば、 ながかへしたつかむ事をへ出来な

新春映畵

新春からの新らしき流行

BLACK

CAT

詰り坂本のレデメー

青年、若人のパンツ

(西通入口)





人」を上映の豫定である

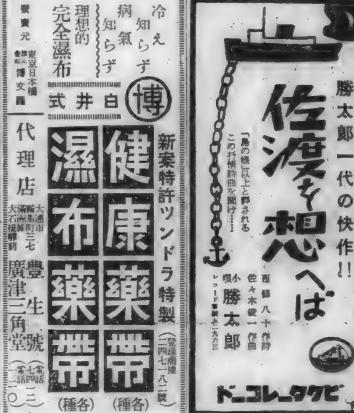
第二松竹館に沙河口劇場が



(呈送ケロメカ)

と云ふことになる おいて何等變りない ドは注文品と仕立に

既製服





學隊

大番組です! 来館 新 春 封

森解子主演 原作戶川貞雄•監督東坊城恭長 大猛獣使ひビ ניי 切 春 名 主演 畵 陣

天下の盆林が御用盗組織し阪東妻三郎主演・原仏 曉 原作吉川英治 大共演 卷七全版聲發い白面もてと

ーキートルーオ

藍主市 海希望の方は御照命を日本話題の中心たる名は御照命 命律 のンリプツヤチ 将 大 の 街

得傻權給配卷八聲發全

咽喉 ビヨ



ましたネ 来があが

ラ

ヂ



更作偉力を増大せる ライカカメラ モデル四(シヤッター ほかョリー・100年クマテ)

簡 院

醫學博士

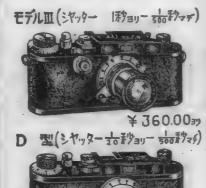
森本辩

助

電話五

0

大連市大山通三越降



¥310.00ay スタンダード

¥ 230.00ay カタログ連呈 全面有名寫填材料店又A 大連大山通 **广종 言言 洋 行**

施痛"セロ 佛檀 佛具 拉

(聖路心)日本橋葉局

洋行 御菓子は

· 查 3999

高 鉄

本年度最新型·多數入荷

米 🎆 🖳 • • • • • • 五球式より九球式迄 圖產品 ••••● 三球式●四球式巡 質・・・・・(¥25 の大衆品より ¥215 の 豪華品这

即試便數迎 ラヂオ全般・電氣蓄音器 强力増幅器・其

...最新の技術 商 大連市伊勢町 東天平安護 新京 東町 【詹四二五七】 【第二四八九】 【第三九〇七】



COLUMN TO A STATE OF THE PARTY OF THE PARTY

**

鐵道工事を中心に

金の投下によって夢らい物変が常の上さい、という、この外清洲化製工業、夜池会社等では、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、一般では、これ等諸事態をは、一般では、これ等諸事態をは、一般では、これ等諸事態をは、一般では、これ等諸事態をは、一般では、これ等諸事態をは、一般では、これ等諸事態をは、一般には、これが表ができる。というない。これが表ができる。というない。これが表ができる。というない。これが表ができる。というない。これが表ができる。というない。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表が表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが表ができる。これが、これが表ができる。これが表ができる。これが、これが表ができる。これが表ができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これができる。これがで

数大に行はれ、結局の関大に行はれ、結局を

イ制電影に関しる数 ・ア開代表は二十六

ザツと一億圓

拂込ご社債で九千萬

に到り続く北方の海泉沙附近郷地 超大豆一日三貨車(五十窓機製) 二月中館に強なも綿状せず、下師 は想て純南に集中もついあり、出 一島一般の出現を見たが、 海島線で 満郎に割合に暖かであるためか十 「豆高粱の出現を見たが、 海島線で 満郎に割合に暖かであるためか十 「豆高粱の出現を見たが、 海島線で

た執ってかゝらればな に當職してかゝらればな に當職してたり、輕な を執ってゐる

市

兩者强在

市場電報

意見一

战 以 以 年 回 面

職職及び郭鐵郵艦兩社を中心さ 直通證券を出すとになる筈であるはまま日本に定期献路を有つ大 職務貨物に黙しては勿論関際から なら直通 横においても直通職務扱び開始の なら直通 切れる場合においては國際運輸車

昨今の麥粉市況

通遼の積缺金

償還方針協議

三年間に完了する

殿さの折倒は過数の

◆…そこで本来ならすぐ料金値下げ要求の壁でも遊覧する等だが とから同社の今後はその繁素響 が派月搬大されるら、自然探察 のされの土地にも進展せればな

結氷おくれ

特産漸く出廻る

相場低落して農民困惑

蒙動機

國際が關係筋と折衝

拉濱線開通ご

直通扱準備

懸念さる

明かで、これが成行を懸念されて するので、農家がこの際申込を念

電車收入も十三萬三十個地と一割の分増を異常な地収を示したでは、

る意見の交換なる

日印

曾商叉復

最終

表部愼重な態度

り同此重役至に於て定時機式總會南端電線會批では二十六日正午よ 年八分据置

滿 鐵 株(强保合)

林 六十一圓四十段

上海標金 休食

綿糸低落

廿九日まで 二十錢

る世界の金 影を沒して

一の推選ビッチであるので、職権賦 を増し暴民は特重代金を市中にお ・ によって消襲ビッチであるので、職権賦 にて生活必需は「地へ市場は解く ・ によって消襲ビッチの保護をなす で第100 によって消襲ビッチの保護をなす で第100 によるかいづれかの方法 昨年に地すると終一元以上の修築 ・ によって消襲ビッチの保護をなす で第100 によって消襲ビッチの保護をなす で第100 に対したが、本年 ・ によって消襲ビッチの保護をなす で第100 に ・ によって消襲ビッチの保護をなす で第100 に ・ によって消襲ビッチの保護をなす で第100 に ・ によって消襲ビッチの保護をなす で ・ によって消費ビック保護をなす で ・ によって消費ビッチであるので、 ・ によって消費ビッチであるので、 ・ によって消費ビックに ・ によって消費ビッチであるので、 ・ によって消費ビッチであるので、 ・ によって消費ビッチであるので、 ・ によって消費ビックに ・ によって必要に ・ によってが、 本年 ・ によって消費ビックに ・ によって ・ による ・ によって ・

要京十六日登電」中島機様により を実施し、輸出版の転標により を実施し、輸出版の転標により を表現し、輸出版の転標により を表現し、輸出版の転標により を表現してある方針を探る

劃期的增大

収支共に異常な膨脹

創

硫安統制計畫

滿電今期業績

關稅再改正を要望

職へてゐるが自先能りを聯係せら 五十萬錢であらうさいはれてゐる にあるために構造は滅天上歐鏡號 で十二月に入りて外國粉の輸入は 至のたこさ並に解釈を行はの意味 で十二月に入りて外國粉の輸入は

遊忘、配際は年八分 を戦め同期和鑑金監 を戦め同期和鑑金監

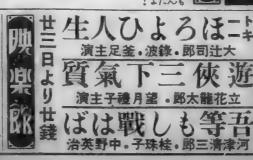
沿線各地の御用命は

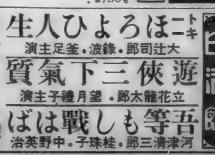


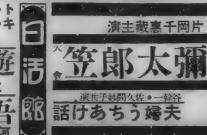














金票等(現物 盖 50 (率 天)

恩赦奏請

首相法相協議

司法當局準備急ぐ

東京二十五日散岡通』九年度歌 | 計画に送の | 東京二十五日散岡通』九年度歌 | 財費に多様の増加を必要さら、及ら、解院に二十六日散岡通』九年度歌 | 1、 国際情勢の理様は陸海軍の国を教大蔵省より貴秀照院へ送附 | 、 国際情勢の理様は陸海軍の国を象が大蔵省より貴秀照院へ送附 | 、 国際情勢の理様は陸海軍の国を教育大蔵省より貴秀に従われた。

特別會計豫算は未決定

の豫算綱要

十五日宮中で牧野内府 名或常日には司法監嗣さして徹 での恩教奏書に聞い解し郷 球府一部には来る二十九日の御 での恩教奏書に聞い郷 球府一部には来る二十九日の御

九億上

解を求めん

条等の南下の使命については 原本等の南下の使命については 原本では 原本で 原本で 原本で 原本で 原本で 原本で の知く 語る の知く 語る の知く 語る の知く 語る

張繼氏上海で語る

す貿易統制

府 行 發

地番一卅町園公東市連大

動語を携ふ臣等護で銀旨を奉體動語を携ふ日本国の電機を行はせられ優遇なる。

ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告朕茲ニ帝國議會開院ノ式ラ行

奉答文並に賀表文

衆議院衆議院奉答文左の

東宮文並に質表を排写した 東宮文並に質表を排写した

居留邦人戰々兢々

城は恐怖の街

中島商相斡旋の下に

一特輯

金鑛分析依賴

電器原動物がには

会者各駆から被

れて丸年を述べるこさになったが

親されて居る

側は救援要求を拒絕

衆議院に對し

五議會際院式に方り厨院に二十六日養國通』二十六日 開院式に際し

貴族院が語事答文方の通り

首相、兩總裁を訪問

對議會問題に關して

商工省近く省議を開く

足の準備

関に日本内地さ北橋太小包並に曹和の北てるない。

過ぎない過ぎない。

ちしてつかいから	A.						"	2		_		て最圧です
2.40	歐洲方面行小	解製間に小包	一年八月以來体	1月7間の	.,	經由		しいいなどげる	に對應すべき	リ來春早々省	質易管理法の	ででするくか
さんじつ でち	直接交換出來する	正されてゐたのです	小包交換は大正十二年八月以來体	東京特電二十六日録』日ソ間の	小包漸增	シベリア	さになってある	が法律の制定に関し協議を遂げる	を開き此の新情報	和法律を研究中であり來都早々省	ドイツが公布せる貿易管理法の	で全面的製造が耐な流行するく他 である。

特許當

百實業廳で立案

意の外交手腕を総橋に安静したソ

變化無し

蘇大使館の見解

極東政策に

	_						3	末	为	4
The second secon	につき遺信省の模様を窺ふさ	から資施を見たが、その後の質様	焼約が練売され昨年八月二十四日	然るに日ツ間に小包交換に関する	題りで行はれ非常に不便であった	包の送達は太平洋、カナダ大西洋	の直接交換出來す、歐洲方面行小	止されてるたので、瞬間間に小包	小包交換は大正十二年八月以來体	【東京特電二十六日録】日ソ間の
	必要である事を痛感し目下研究	したさころ中央にても庶民金融	救漁を行ふ方針で中央政府に進	央銀行から低資を受ける面前金	地に開設し不動産金融策さして	め館楽職では特許は(質敵)を	を救済し庶民金融の	[奉大特]		

る公館現在様は八十一億國である わけである から、而して昭和八年度末に於け の公僚機能は約九十一億國となる 総額は九億七千萬國に塗する筈で 徳七千萬國を合する時は同年度末 の公僚機能は約九十一億國となる

まである事を搭越し日下研究中	いさころ中央にても庶民金融の	のを行ふ方針で中央政府に進記	行から低資を受ける面的金融	に開設し不動産金融策さして中	是機能では特許は(質像)を各	子びしが上る語のである。したす
任外務省物報部領	領域	~	外務人		の金融機関が設定	をかに到ってして

を持してゐるが、右につ 総末における りトヴィノフ氏が留字中でも氏 工事方面も執 の代行するクレスチンスキー氏 工事方面も執 歳末繁忙時に 歳末繁忙時に はかるため。 はかるため。

発売中の	始進	北極
任外務有情報部第二課長	【東京二十六日發網通】	外務人事異動

が譲歩して

		-	_			10
1ア駅代表の私能が終によって安	しかし問題の略融通率は澤田、ポー	が得さなった。	単内に細り協定を了し、新通関係	繁質に瞬じても強硬に頑張るため	を見るに至ったが、印度側は細目	間は大橋に関する限り意見の一致
O A	展起	吧	Stol	-	111	0 -1-

義の私能が終によって安	題の略勝通常は澤田、水	は残さ気を得さなった。	目協定な了し、新通関係	しても強硬に強張るため	主つたが、印度側は細目	に関する限り意見の一致
の輸入は九・六	度側の鍵歩に体	略に二割の熱流	割さし生地に	-	加丁三十四日	0-1-

晒布融通率を認む 私的折衝で妥協成立

趣味の漆器座談會四席者







奉天急設電話 電話加入窓口事務

★ポンド佛巨否事件	★島徳藏の没落	★小林氏の大芝居?	★活動期の番町會	★贇石密輸團の正體	★帝國人絹お家騒動	★東株整理樂屋話	★アメリカ通貨騒動	★豫算閣議紛擾秘話	講談小説よりも面白くて管	
草田	古田	內田	三田村	田倉	鈴村	小金井	柳澤	山鹿	くて爲になる經濟	
部	有二	勇	豐	孝一	京三	哲	忠夫	彦	讀物	
							1	19.5		

孫、張、胡等

互頭會見

日本精神發揚

在奉有力鮮人團組織

九年實の山探 第二特輯

說

るのであらっ

職係、資本主義、社會主義の思
・和し、家質品牌な牽削せん意のという。
・な道徳心の一般的狀態も小家質
・これを主義・社會主義の思
・本語性名を作って住宅職を建
ってわらう。
・な道徳心の一般的狀態も小家質
・これは最も重要な部分である。

する記事中家主側さして代表的 事は 世の 注意を 惹くべきもの 無氏、大連市社會課、正

一鐵路收用補償に 公債一千餘萬圓發行 満洲國財界に好影響

一番方の 三銀道を取用し 民間側 さ共に突渉し回答、呼海に二十五日附一千百九十二萬八 探察原航及び出資者に黙する利題がは二十五日附一千百九十二萬八 探察原航及び出資者に黙する利題がは二十五日附一千百九十二萬八 探察原航及び出資者に黙する利題がは二十五日附一千百九十二萬八 探察原航及び出資者に黙する利題がは二十五日附一千百九十二萬八 東京 東京 はまり これに変している。

支那軍協定無視

室内から一望(大連灣の眞帆片帆

關東軍近く嚴重抗議

共産黨、全貌を發表

靖安軍徵兵成績

沿海州支鮮人

興安省產業狀況

【興安總署の調査】

『ハルピン特電二十六日重』 ツ歌の教徒の教徒の教徒、大ロシア人さは特別の教徒の教徒、武路をは有するかの教徒の教徒、武路をは有するかの教徒の教徒、武路をは有するから、三千萬の教徒、武路をは有するから、一 蘇聯邦における 反革命運動

五百名に試験的訓練

内地株冴えず 當市軟弱

品(寄) | 一七七九 新川寺 | 一七七九 一二五五六

事務膨脹に伴ひ

『用度事務所』の新生

もほぶ内定

大豆聢り 新近二日高東 | 1930 | 11高東 寄付 高値 安値 大山 寄付 高値 安値 大山

麻袋保合

本省内の森林は大熊安治

森林概況

三国六〇

場大

本

營

御用酒之光榮

電話七〇四二番

昭和八年陸軍大演習之砌

御家族と御一所に

遼東ホテ

遼東ホテルが好適

銭安、東新に一個方安に引けた内地主力株畝弱を入れ五品は二十

四五

九二五

合開散

爾東歐御指定 話二一六〇二条 文晁堂表具店

の當人に無の事で

基数の残渣

清水式無精光容機

六月一日より北海道に施行されし **査に於て禁譽ある最高位に入選し** 協機として絕議を博し本機の整價 此砂米禁止に就ては最優秀の無砂

市神田區 一唯下天

世界唯 自止 희하 毁 完 入全 式に SELP FILLING

白米相場は 連鎖街の問屋大島屋へ

電ニニー〇〇番

日

限りない慶び

國民の意氣も引立ちませう

大きな軟び

石川一中校長談

「「「大連市内の各関係ではい」の鬼が騰へり奉戦が分みなぎ、大連市内の各関係ではい」の鬼が、大連市内の各関係ではい」の鬼が、大連市内の各関係ではいっている。「「「「「「「「」」」の鬼が、「「」」というない。

全市に漲る歡喜

日の本の礎

岡內羽衣高女長談

庭

一日の皇子

整構の皮を心袋に入れて赤 の度はいろいろに利用出来 霊術の皮の外皮をうすくなり澤山沿上られますが、 もつよくなめちかになり 深山路上られますが、 もつよくなめらかになりますくなるさ鑑問も美味し る様な事がありませんし皮膚

小兒の睡眠 時間は個人能 の場合においては年齢によって略

します。 雪桃の皮を米に施し 間様に使用しますさ風味を増

返りも出來ぬ

こも

本といい、お気で軽慢するさころのの 気はれたなら、さうかも知れました。 ではれたなら、さうかも知れました。

★ ◇仕事場の英文學・調 ◆或科學者。生活断片(@maaammaa)矢島

少年の果實

語基次利便

かさい町で歌のついた大黒柱深 が なの賣の小きか花店家利 杉山

△ △ △ △ △ △ △ △ □ □ 八 九 玉 玉 玉 銀

配一芹澤光治良 篤

オ

エレンプルグ



(院 本) 三九通西市達大 樹五七五八話電

高島派易斷總本部 定評ある

よせなべ さくら鮨

福田米店



かしさは至くこの煩見たこさがあ 撃候に集まって来た生徒の態の縦 を対しません。今朝、廿三日) 勇氣百倍

ではありましたが、長い間 まった今日このおよろこびを見るこではありましたが、長い間 まった今日このおよろこびを見るここが出来ませう。年もおじつ 無線育館して現下の國難を打開す 村井神明高女長談

二品答贈御

戦争

阿部知二 長谷川 ·龍膽寺 山本安英

(世界認識とし) 他三二 直木 三十五

◇哲學としての文學

振善東京 八四○二番 改 造 · 社 價八拾錢

場) ニュー

土産話もその儘の満期除隊兵

大突貫

新京誠忠碑前の國旗揭揚式

新京西公園就思碑前の大城族は新年を迅

妻を疑ふ氣は

安東の慶祝

釜山マリヤ殺し事件につき

しもない

大橋北鮮運輸課長談

自中分に乗ら立て、居るから正さい者は、何時かを正さい者は、何時かまかればしくなり。



新人歌生の際に持つて深らす、そのま ・新樂滿洲國の今日の治安康徳がらまた 他受なる徳力の保持者といる歌か ・新樂滿洲國の今日の治安康徳がらまた 他受なる徳力の保持者といる歌か ・新樂滿洲國の今日の治安康徳がらまた 他受なる徳力の保持者といる歌か ・新樂滿洲國の今日の治安康徳がらまた 他受なる徳力の保持者といる歌か ・新樂滿洲國の今日の治安康徳がらまた 他受なる徳力の保持者といる歌か ・新典満洲國の今日の治安康徳がらまた 他受なる徳力の保持者といる歌か ・新典満洲國の今日の治安康徳がらまた 他受なる徳力の保持者といる歌か

爆竹差支へなし

治安成つた錦州に

製造販賣を許可

山戦に魅力をなすこさいなった 諸磯方配さ連絡協調して除除兵の

中學校卒業式

満洲國に踏み止る 機能したのみか、今度は受験低に ・ 機能しを開発します。ころ日常 ・ 機能の交続が行はれる機になった ・ 機能の交続が行はれる機になった ・ 機能の交続が行はれる機になった

日本語な正識さして数へてぬる。 ・ 一般の候師が据人と継近し日本語 される様になり之な事題前に此て される様になり之な事題前に此て 第口水産會社 [奉大] 根ふて日本の教育を取り入れ





野菜類は二割乃至四割騰貴

最近、奉天の諸物價

上る鮮魚

より成ものは一動が至二動方動か るるがその原践につきゆいて見ると訴訟は被職には続り終戦なく が至四期職事で大連のそれに此ずると訴訟は被職には続り終戦なく が至四期職事で大連のそれに此ずると訴訟は被職には続り終戦なく が至四期職事で大連のそれに此ずるとは、 あるがその原践して一割方の機関である、





親日思想高潮、日本語熱勃興 百姓さん の稽古

面目新たな遼西一帶 さめ彼を指名他人さして捜査中二 【清津】京殿線の佐藤に酷似してゐるここをもつき 八片 間

で、み歌波氏外二名からオーバー びこみ歌波氏外二名からオーバー 市内源連通四十五番地プロードウオの源連通四十五番地プロードウオート 宿舍から盗む 第以逃走せる犯人わり、局出に、トランク等十級點世格數百日 4ール検舎に何者か忍。

長白山

お鶴嬢 この頃の

債格六千三十五国 採取販賣が有望視

東して非常時の實體を握め! も間には合はない。全國民一致結 も間には合はない。全國民一致結

≨ 鎮 痛 新 新

僧 金 四 十 鍰 入

各地



か。満洲や南洋の運命はどうなる敵は南から來るのか北から來るのかれから來るの

としてゐる程危險なことはないのか。この事情が分らないで安

分らないで安国

a。この事情が心臓が発育が

申込期限の

本月末限り

八時間焼く

税木を始め朝鮮鏡道

府の富豪

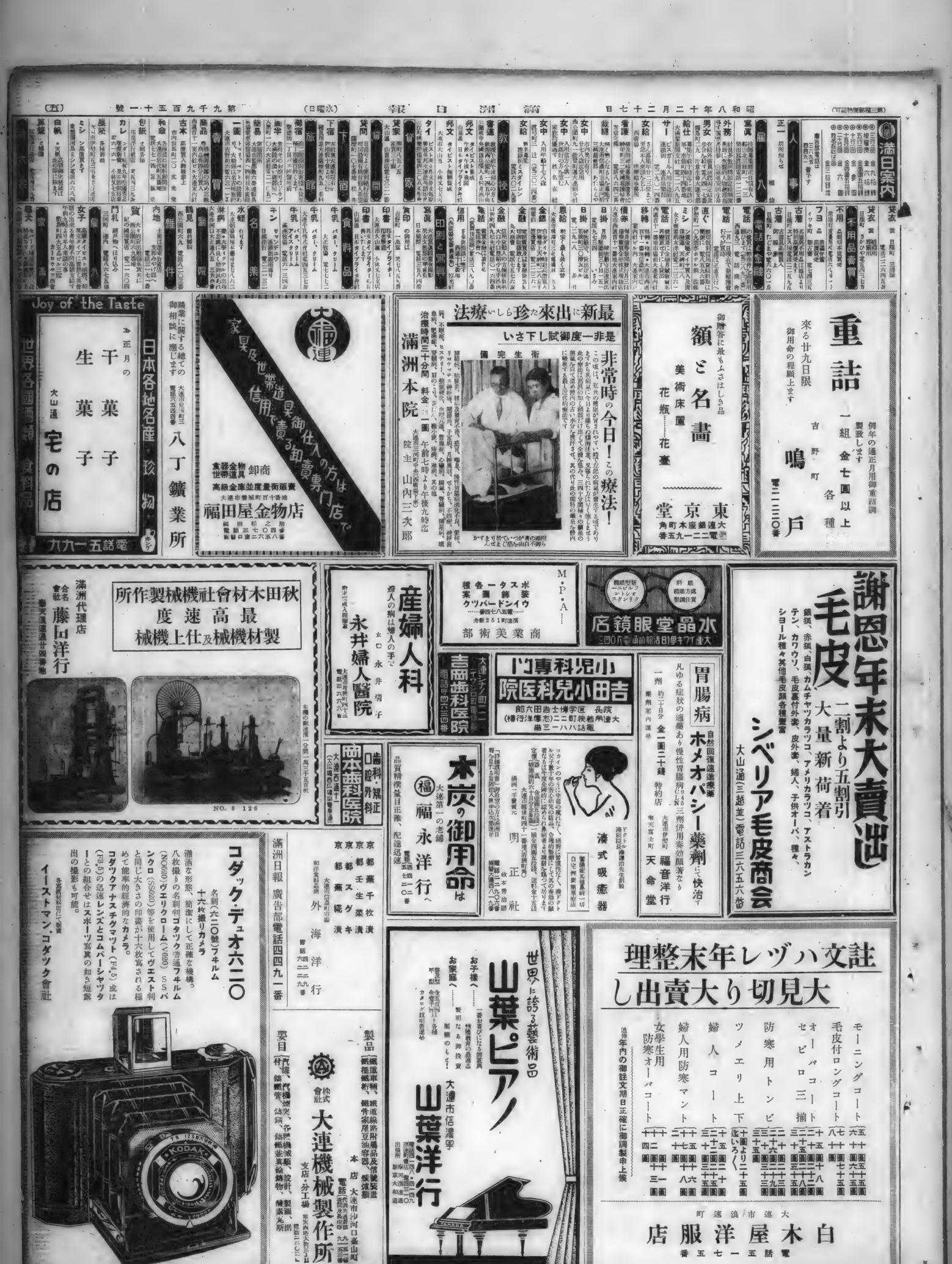


石田侍從武官

廿三日南下

稚園の學藝

年 花形として當面問 陣頭に立つ 題。人、廣田外相



判です。

9

作國し苦約和・

和

大づ様

後つと 表が錦 は發う

で體黄 ハガキ



湖戶內海線

● 專屬荷役所(大連山縣運) ● 專屬荷役所(大連山縣運) ● 專屬荷役所(大連山縣運)

沿線の御方は振替大連云売番で市内の御方は電話六六〇六番へ

ロバルコ

程 家具的設計上根本作

少小は 計門店へ カンノ洋家具店

品粧化 延味のコーヒー店カステーラホールと

日

絶好の贈答品 中打人化粧凾

三劇場

電のうへ物影影の期前へに整列しつ、勇まらい勝行と 一切時謎の報に軌事とた窩地電民 十餘名の小國民を先 一切時謎の報に軌事とた窩地電民 十餘名の小國民を先

B

鮮農の隱して置いた札束が

百圓

満電の新サ

ビス

大なものがあら、

「窓湾に高機

標

オンドルの中で丸焼

御降誕の報に

順の御歌線を探受すべくか見中で 患太后硼陰下より在消粉士に御下 患太后硼陰下より在消粉士に御下

満洲里の奉祝

「東京二十五日登園通」泉太子町 下には御歌歌第二日も極めて御雲」はされた 下には御歌歌第二日も極めて御雲」は海元線上 下には御歌歌第二日も極めて御雲」は海元線上 で中野で御歌歌は飛されたが、繁 る、又天息 を下にも御歌歌第二日・極めて御雲」は海元線上

急后際下を御見郷様々御夢はり避れる。又天皇院下には二十五日し郷

版 ち、父天皇陛下には二十五日と朝 安 は海元線よく多級に沿されるさ水 版 乳あらせられるが、皇太子殿下に

海拉爾部隊に

御眞綿

授與さる

竹の園生の彌祭を

輝く歴史たくへつく

いみじき力湧き出でれる

豊華原の安川に

いざや歌はん弊高く

电車停留所に

雲居の空にひょくまで。

皇太子愈々御元氣

お乳多量にお召し

浦鐵黑河駐在員

れな放送するからある

八の配日午後六時中

坐突醫院例會 是太子殿下御命名武部日の二十九日。

(水)午後四時より同院職一一、県石に就て張紫忠総會十二月候会は二一、前周書の外社 してゐる

校生徒、一般市民の総行列を行ひ、この中市では野糠の如く小駅校四年以上、中等限



日嗣の皇子は生れましぬ。

とよさか登る日の本に

千代田の森の奥深く

さやけき光みなぎりて

五十鈴の水のいや清く

萬世かけてよどみなさ

青シヤツ隊の婦人 **リ青シャッな)** ノ青シャッな) い 少年南シャッド、アイ



日神・京東 5番 3番 3 番 3 番 3 番 3 番 3 3 4 1 規画

鼠三六九五番 一人の六七

湖底特 選 石 拔 品

一番 当の 出へ

御菓子は 喜久屋へ 知新堂印房

験を行いない 日 部。 通 人材を求む試驗要領其他左記司令部に於て日語通譯採用試 集

年間歸鄉

牧師

警察廳に敬意を表し

黑龍江省警備司令部軍務處

皆様が御自身で福を引いていたい 人福引開始 百圓也!

晩五時か

キなんぞかせへん!

年一回全店 威幕大寶出



至滿戶 外デ

日

花

箱。茂火茶

各地へポスター配布

本

後の

領縁ミア

明かなそして多幸なニ

キノキイタプレゼント品揃

幸福なアナタの

起くこと、なった したので蔵に濃突見の中を跳べて 対の所に苦心し 草さ共に三千五百画の大金を温突 呼がて居るのは心安 たがその時既に使用人の安敦が松 慢の かった かった はいかい したので蔵に使用人の安敦が松 慢い かった したので蔵に使用人の安敦が松 慢い かった したので蔵に使用人の安敦が松 慢い かった したので蔵に使用人の安敦が松 慢い かった したので蔵に濃突見の中を跳べて

灰を眺めてるた はめしさうにほんやりで焼け 味の ないてしまつたこさ、て金は

(派出所に届け出で

△引率者等多址一郎批授▲選手を登替別長賞▲選手を出一郎批授▲選手を出述二、廣 満鮮の試合日程決る

解司、黑田鄉三、高林光男、 被司、黑田鄉三、高林光男、 新縣三郎、安都忠文、小四龍

春近づけ

鐵窓の闇冷

苛責の鬼

父を思ひ悔恨の涙更にあら

を写三郎氏が中郷で食事で第一頭一大二十六日午前十時事を電影を使人

ルビ利辻三町速浪店分

ユースが 必ず訪れませう ムの特賣

うちはもう精神教育の必要がな

動りにか

原理(島町三郎譚)原著者はペトルである。各民族の特性記述の新介」と註を入れてある。各民族の特性の書が「世界諸、いりたのか一寸分りかれるが「世界諸、いたのか一寸分りかれるが「世界諸、いたのか一寸分りかれるが「世界諸、いたのか一寸分りかれるが「世界諸、いたのか一寸分りかれるが「世界諸、いたのか一寸分りかれるが「世界諸、いたのか一寸なく、関係的に

複雑なる成分を、

若狭に遊歴した時里

いった。

つて信州さ灰山さは勝つ

就つたな。それぢや、ごこかへ数日送見さんにその話をするさ

11 ではたが―?」
「ジなたがあってれ」
「ヘー・えり染れたらんだわれ」
こを等分に見較べた。
こを等分に見較べた。
こを等分に見較べた。
こを等分に見較べた。
こを等分に見較べた。

(N)

「あゝ、丁糜いゝこころへ來なす」

「話服研究会を始めよう

生生位

正月新

黄金三百粒 根おろしが

鏡園太平の 京永時代に、 生の巻草の寛い等分に混ぜて 奇拔なる治療法の話 で、二十羽飾りの牡蠣が、其の通りやつて見たら、俺に一羽

神醫岡本玄治の

んばかりに膨くれ、如何ともするで重に繋これの味をついけの中で薄え悶へて、腹が張り裂け毎日大きな卵をついけ

多くの要妾を

が、 一次に のが ない のだの中を 命から がらから きものがある。

非常に高價な<u>頻</u>蛇酒を ない、支那の大官室 書籍總

門專.兒幼.兒乳

果。入汽洋 は 効;手"

か流流 分。 は

田 京

は一人公論 婦人公論 婦人公論の 「講演」とは 「大大学」という。 「大学」という。 「大学、 「大学、

の金を取つて質しき人へ

「子供が大勢のますかられ」

「なわに、子供があたってかまけ

山路さんが 大型は以前山路さんについて大 女里は以前山路さんについて大 なぎよりは影響上だ。

古來此上もなく

他い丸木橋を渡りついある罹り易い動脈硬化と

だ其の成分が不明である。起死 燈裏本暗らし といはれ











を威するでせうか?

ふ髪に誰

が魅力







艷

髮

日津

花



が過を強いて馬ります。人の心は

は永久の眞理でせう。しかしよく

デイングで無いてゐるだはストー

大人とは何を悪楽に言ふれたら眼はペッテリと影高さが良います。 ですがら眼はペッテリと影高さが良います。

外出しなくてもオフィスやピル

4能率の阻害4

て冬の最も大きな脅威は幾點と較 いおけ生活は低くなります。そし 沙州

4冷霜の訪れ4

められる眼の障害です!

本寒風と

4明眸の保護4



子紀友 田竹 家業費

讚

なだ、スマイルなんか壁下徹はないんだ、スマイルなんがあらよく戦談を計はれるほどを批議すつかりスマイル気になって仕舞ひましたの…………でも繁淡家だからと言つて繋ばかりでなく眼だつて美しいががどんなにいか知れませんわ。ほんとうにス 一人もないのも不思議ちゃありませんわれる 自分の思ふやうに更へるんで

で この眼瞼の皮膚の緊急ですが、かういよ風に跳べて見ざるのですが、かういよ風に跳べて見ざるのですが、からいいな風に跳べて見ると感念ながら、日本人の眼はあまりを微れないのです。しかし之は眼を力な情を十分にすれば調なく ない笑しい歌をしてるますが、太 してある若い女性等は、突してガ ルボヤドロテア・ウキークに育け



お嬢さんの眼 ト・ナキ



日 | 校人に一重総が移いの
これに脂肪が知いから一重に見
え、外人は之と関禁に関係が続いない。
と、外人は之と関禁に関係ががいる。
と、外人は之と関禁に関係ががない。
でこ重に
見えるのです。
文外人と日本人と
してると日本人は届きと限の距離
といると日本人は届きと限の距離 表現に大に脈解してのます。たと に答びしてのます。これは影情の も限と眉毛の接近してゐることが へばシネマなどで外側の俳優の表

は埃と風い寒

!號信險危のへ眸明

* るなに炎膜結とるす任放 意注ごに特は方るさな出外 *

埃と

本形になって仕舞ひます。 障害が度重ると多くは結膜炎や眼 献を連んではやり眼や く砂焼はともすれば病 かります、突風と焼は 角膜を傷げ刺戟して光 のである。

> 日本人の眼と 外人の眼の美貌

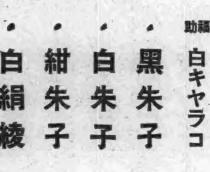
外人には二重瞼が多い 日本人には切長一重論 違ってゐるのです。



もり便の雪 とラホラチ

然手列中の最高機能 が何なるし 生女命。 便定 新粉液 製製製 二四五 見惚れる程の場 +++







師が出た」とか言ってあることも

か、時には傳染病の潜伏期であつ

期であったりして、そのため

たり、先天性敵毒や乳児間気の初

ら起る榮養不良の諸症状を引つく

るめて一口にから言つたもので、

一第一に皮膚が弱い

巧く育てるには

■和でも百日酸でも、これに件 容氣と入れ換へることを忘れない

五十五六度が適當

癒りにくい

濕氣が多いと

つことの出來る。異常な修賞を除一うにしなければなりません。若し歐酸性素質、出血性素質などに分一十度から六十五度協を下らないや

の調和が大切です。温度は響氏六を吊つてやるのがよろしいです。 別でこと。なるべくは電気探測を 識度は湯を沸かして蒸気を立てる の作でおこして有権見所の政敵を

百日咳の 醫者を呼ぶ前これ丈の注意

生れつきの過敏性、夢問的に言へ

に皮膚を丈夫にしなければなりま 風邪の時と

はして下痢、砂熱、性寒を逃し気が

れなく、かきつぼく、怒りつぼ

神經殿のきが感く

・絶きつぼい状態になってゐる

く い子供や、壁で性が弱く窓前がの 、 芝しい子供、繁観に好き観ひの鏡 い子供などもこの情報)最も窓し い子供などもこの情報)最も窓し い子供などもこの情報)最も窓し が見の財産を離れ化すると言はれ、特化不良、無限等によくかく小見 宇津教命丸は、雅、衛氣、テニ

動か、小児の凝熱や消化で度か (を) 親から事けついだものよことで、 がなきくなるまで沿らな 光線浴も行ばれてるますが、簡単 せん。それには太陽燈、石英燈の

作動を行みこんで、常に不賦の勢力をしなければなりません。で、一種「税」とは何か――のが、親の人情でせる。然しからした子供は所識「般」のためにさらなるので、すてをけばだるが、親の人情でせる。然しからした子供は所識「般」のためにさらなるので、すてをけばだくなる。などくなるばかり、と言ってこれは急に治せるものでなく、何よりお世様が赤ちゃんのが、親の人情でせる。然しからした子供は所識「般」のためにさらなるので、すてをけばだのが異ない。中に似合はぬき成たいを押けば、「家の子は覧い」などと自使したくなるをのですが、わかずとなれば、子供は少しボンヤリな位の方が、成長してから健康で覧くなるものですが、わかずとなれば、子供は少しボンヤリな位の方が、成長してから健康で覧くなるものですが、わかずとなれば、子供は少しボンヤリな位の方が、成長してから健康で覧くなるものですが、わかずとなれば、 異常な體質

マが欺かれ易い・

中家でへ考に位本様先は夢蔵お なばねは買らたれ切品るへ使で はにれそうせまび選を品ぬら すまいさででりょ何。が 鹸"石"王光"

%四·九九度粹純

阪大・會商瀬長社會式株鹼石王花・京東

凾合詰王花

すまり居ていつが紙しのいし美もれづい

返品返金自由・古帯道具の配

電話 6080 22660



寫員s お撮影は

穿 川 兒 科



社會藥賣本日 行 洋 音 福

大代 選店

(献 女 及 豪 用 試) 呈進代無第次報—脚)





町汪远連大









墨博士

造谷創榮

話六五六五 掛

入员宿時

西公園町春日小学校前、大線完備

腎臟·血壓及婦人內科







運動の勃興より生れたる運動藥 榮養さ育見の倉願問 醫學博士

らず、それらの趣歌は實に襲大で

に 新の亢憲は散大であるが、多類に おいては寒気や鼠等と関ふために 対ればならぬ。 かければならぬ。

凍傷、凍死は

ースキーヤ

ーの熱量補給

出場するわが開墾を観音によっ、その脱動力として製彩さるとはも、ルギー増進の作用の外に、食気配で口筒・四貫間単生スキー大會 魅大エネルギーを消費する場合 脱梛はザイダミンBに跳するエネの。 にいてるに消費せらる、エネルギーにいてるに消費せらる、エネルギーの販売に外ならない。これを防ぐにはなるべく多量の影響にとめる食物の撮取が必要である。さらってこの食物はなるべく運かに、エネー化されねばならぬ。 登山時の救急藥

られない長所である。 精神工作の

田

とした、運動に動するエネルギーを 増進に有效であるが、これから業 して工場観券者の駅間野作に動し エネルギーを無給して影勢を除る ひいて能率を増進せしむるにも有 がなるべきは想像に軽くない。

情報 しかし、本際はまた疾情影響を なさない、事務家にとつても振襲 もを終め、充分に恢復せられざる を持ちればる。標準工作より生ず の優値がある。標準工作より生ず 不眠、頭重其他

藥價至康

第一圓六十錢 市芝公園大門

ポケット用

勝 賣 元 榮 養 と 育 見 の 會 海外代理店 三 井 物 産 株 式 會 社